

矢野 邦夫 先生

浜松医療センター

院長補佐 兼 感染症内科長 兼 臨床研修管理室長 兼 衛生管理室長

'81年 名古屋大学医学部卒業。名古屋第二赤十字病院、名古屋大学病院を経て、'89年 フレッドハッチンソン癌研究所、'93年 県西部浜松医療センター（2011年4月より「浜松医療センター」に病院名変更）。「96年 ワシントン州立大学感染症科エイズ臨床、エイズトレーニングセンター臨床研修修了。「97年 感染症内科長／衛生管理室長に就任。2011年4月より現職。

ホームページでも、公開しています。

メディコン CDCWatch

検索

株式会社メディコン

Pfizer-BioNTech COVID-19ワクチンの接種後のアレルギー反応

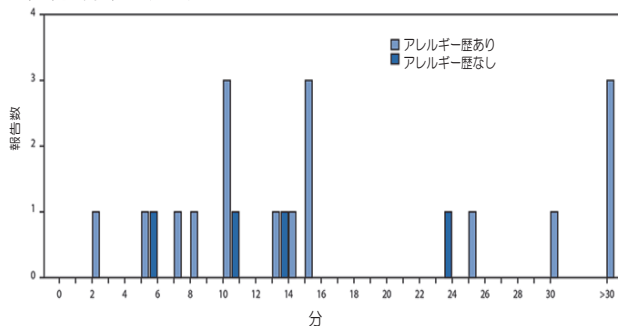
CDCがPfizer-BioNTech COVID-19ワクチンの接種後のアレルギー反応（アナフィラキシーおよび非アナフィラキシーアレルギー反応を含む）について報告している（1）。この報告は、2020年12月14～23日に初回接種を受けた後のアレルギー反応の症例報告の臨床的および疫学的特徴をまとめたものである。

■アナフィラキシー

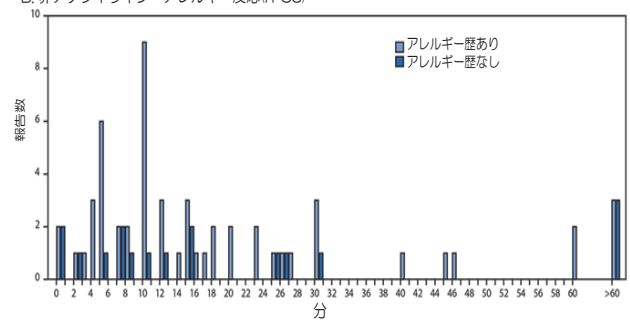
- 2020年12月23日の時点で、初回投与1,893,360回（女性で1,177,527回、男性で648,327回、性別不明67,506回）が米国で実施され、4,393人（0.2%）の有害事象の報告が提出された。
- これらの中で、重症アレルギー反応（アナフィラキシーを含む）の可能性のある症例として、175人がさらなるレビューのために特定された。その結果、21人（100万回接種あたり11.1人の割合）がアナフィラキシーであると判断された。そのうち17人にアレルギーの既往歴があり、その中の7人にはアナフィラキシーの既往があった。
- アナフィラキシー症例の年齢の中央値は40歳（範囲＝ 27～60歳）であり、19人（90%）が女性であった。
- ワクチン接種から症状発現までの間隔の中央値は13分（範囲＝ 2～150分）であった。15人（71%）が15分以内に発症し、3人（14%）が15～30分以内に発症し、3人（14%）が30分後に発症した（図A）。

図. Pfizer-BioNTech COVID-19ワクチンの接種後の「(A)ワクチン接種からアナフィラキシーまでの間隔(分)」および「(B)ワクチン接種から非アナフィラキシーアレルギー反応までの間隔(分)」—ワクチン有害事象報告システム、米国、2020年12月14～23日

A. アナフィラキシー(n=21)



B. 非アナフィラキシーアレルギー反応(n=83)



- 21人中19人(90%)はエピネフリンで治療された。1人ではエピネフリンが皮下注射され、残りの18人は筋肉注射された。
- 4人(19%)が入院し(集中治療室の3人を含む)、17人(81%)が救急科で治療された。20人(95%)は、自宅に退院したか、回復した。アナフィラキシーによる死亡は報告されていない。
- アナフィラキシーの21人のうち17人(81%)は、薬物や医療製品、食品、虫刺されなどのアレルギー歴があった。7人(33%)は、過去にアナフィラキシーを経験しており、そのうちの1人は狂犬病ワクチンの接種後、もう1人はインフルエンザA(H1N1)ワクチンの接種後であった(表)。

表. Pfizer-BioNTech COVID-19ワクチンの接種後のアナフィラキシーの症例の特徴 (n = 21)[抜粋]

年齢	性別	既往歴		接種後の発症(分)	症状
		アレルギー	アナフィラキシー		
27	F	トロピカルフルーツ	なし	2	びまん性紅斑性発疹、喉の閉鎖感
35	M	なし	なし	5	びまん性紅斑性発疹、舌の腫脹
55	F	狂犬病ワクチン	あり、狂犬病ワクチン	5	全身性蕁麻疹、喘鳴
52	F	サルファ剤	あり、サルファ剤	7	喘鳴、喘鳴、吐き気
30	F	蜂刺され	なし	8	全身性蕁麻疹、喘鳴
32	F	なし	なし	10	びまん性紅斑性発疹、呼吸困難
60	F	卵、牛乳、サルファ剤、クラゲの刺し傷	あり、クラゲの刺し傷	10	びまん性紅斑性発疹、嘔声
29	F	貝、卵	なし	10	全身性蕁麻疹、唇と舌の腫れ
52	F	メトロロール、クラリスロマイシン	なし	10	全身性蕁麻疹、喘鳴、喘鳴
49	F	ヨード造影剤	なし	13	全身性蕁麻疹、喉の腫脹
36	F	なし	なし	13	全身性蕁麻疹、吐き気
40	F	サルファ剤、クルミ	あり、クルミ	14	びまん性紅斑性発疹、唇の腫れ
33	F	蜂刺され	なし	15	びまん性紅斑性発疹、持続性の乾いた咳
41	F	フロクロロペラジン	あり、フロクロロペラジン	15	いた咳
57	F	ペニシリン、アジスロマイシン	あり、特定されない	15	びまん性掻痒性発疹、嘔声
45	M	なし	なし	23	全身性蕁麻疹、気道の腫れ
46	F	ヒドロコドン、ナッツ	なし	25	びまん性紅斑性発疹、嚥下困難
30	F	ネコ、イヌ	なし	30	全身性掻痒、喘鳴
44	F	インフルエンザ A(H1N1)ワクチン	あり、インフルエンザ A(H1N1)ワクチン	34	全身性蕁麻疹、唇の腫れ
29	F	サルファ剤	なし	54	全身性蕁麻疹、持続性の咳
29	F	ステロイド	なし	150	びまん性掻痒性発疹、唇の腫れ

■非アナフィラキシーアレルギー反応

- 同じ期間に、ワクチン接種後0~1日に症状が現れた83人の非アナフィラキシーアレルギー反応の症例が特定され、そのうち72人(87%)が非重篤であった。
- 一般的な症状は掻痒、発疹、喉の痒みや擦れ感、軽度の呼吸器症状などであった。年齢の中央値は43歳(範囲=18~65歳)であり、75人(90%)が女性であった。
- 発症時期は61人(85%)は接種後30分以内、11人は30分後に発症した。11人は、発症時期が不明であった(図B)。

■考察

Pfizer-BioNTech COVID-19ワクチンの接種後のアナフィラキシー症例の殆ど(86%)はワクチン接種から30分以内に症状が現れた。そして、アナフィラキシー症例の殆ど(81%)にアレルギー歴(アナフィラキシーの既往のある症例を含む)があった(但し、一般人の最大30%が、何らかのアレルギーの既往歴がある)。アナフィラキシー症例の殆ど(90%)は女性であったが、ワクチン接種の64%が女性に投与されていたことから、男性よりも多くの女性が初回投与を受けた影響があるかもしれない。

Pfizer-BioNTech COVID-19ワクチン接種後のアナフィラキシーはまれな出来事であるが、ワクチン接種を実施する場所では下記を行う必要がある。

- ①アナフィラキシーを管理するために必要な物品(特にプレフィルドシリンジまたは自動注射器内の十分量のエピネフリン)が利用可能であることを確認する。
- ②ワクチン接種予定者をスクリーニングして、禁忌および予防措置が必要な人を特定する。
- ③被接種者のアレルギー歴に応じて、ワクチン接種後の観察期間を、15分または30分とする。
- ④医療従事者はアナフィラキシーの症状を早期に認識できるようにする。
- ⑤アナフィラキシーの疑いがあれば、エピネフリンの筋肉注射を直ちに治療する。アナフィラキシーは急性かつ生命を脅かすので、エピネフリン投与に対する禁忌はない

[文献]

- (1) CDC COVID-19 Response Team; Food and Drug Administration. Allergic reactions including anaphylaxis after receipt of the first dose of Pfizer-BioNTech COVID-19 vaccine – United States, December 14–23, 2020
<https://www.cdc.gov/mmwr/volumes/70/wr/pdfs/mm7002e1-H.pdf>

こちらでも公開しています。

メディコン CDCガイドライン 

製造販売業者

株式会社メディコン

本社 大阪市中央区平野町2丁目5-8 ☎0120-036-541

crbard.jp

BD, the BD Logo are trademarks of Becton, Dickinson and Company or its affiliates. © 2021 BD. All rights reserved.

